

いじめ、誘拐、児童虐待…
いま子どもたちが危険にさらされています。



児童虐待、子どもへの性暴力、いじめを苦しめた自殺…頻発する痛ましい事件に
たくさん子どもたちが犠牲になっています。近年はネット社会の発達により、子
どもへの暴力が見えにくくなってきており、事態の深刻化に拍車をかけているとも
言われています。

これらの事件を未然に防ぐために、自治体や学校でも様々な対策がとられていま
すが、当事者である子ども自らが暴力を遠ざけ、また暴力から身を守る術を身につ
けるための教育も、大切なことなのではないでしょうか。

CAP プログラムは、子どもたち自らが暴力から
身を守るための教育プログラムです。

CAP (Child Assault Prevention) とは、子どもたちに「安心」「自信」「自由」
の権利があることを伝え、いじめ、誘拐、性暴力など様々な暴力から自分で自分の身
を守るためにできることを考える米国発祥の人権教育プログラムです。日本ではこ
れまでに*約 324 万人の子どもたちが、CAP プログラムを受講しています。

1 人でも多くの子どもを暴力から守るために、
あなたの母校に CAP を贈りませんか。

認定 NPO 法人エンパワメントかながわでは、子どもが自らの「権利」について考
え、自分で自分の身を守ることを学ぶために、1 人でも多くの子どもに CAP を受講
して欲しいと考え、皆様の母校に CAP をプレゼントしていただく「母校に CAP を
贈ろうプロジェクト」を展開しています。

*日本では統計を取り始めた 1997 年以降 2016 年 3 月末までに、おとな 196 万人、子ども 324 万人、あわせて
520 万人以上がプログラムに参加しています。

認定 NPO 法人
エンパワメントかながわ

●ミッション
暴力のない社会の実現

一人ひとりの人が、自分自身を大切に思えること（人権意識）で、他者も大
切にしたいと考え、お互いの力を引き出しあい（エンパワメント）、つなが
っていくこと（コミュニティ）で、いじめや虐待、性暴力など身近な暴力から
なくしていくことを目指します。

- 実現方法
1. 子どもたちに、予防教育を行います。
 2. 保護者や教職員など子どもの周辺にいるおとなたちに、子どもの力を引
き出す方法を伝えます。
 3. 団体の理念や培ってきた手法を伝え、人材を育てることで、同じ想いを
さらに広げていきます。
 4. 暴力防止のための調査研究を行い、手法の有効性を裏付けます。
 5. 他の NPO や様々な機関と連携し、暴力のない社会に向け提言します。

- 活動実績
- ・CAP プログラムの理念を基に、デート DV 予防プログラム、すきっぷ（子
どもの護身法）プログラム、障がいのある子どもへの暴力防止（ほっと）プ
ログラム等それぞれの対象にあった暴力防止プログラムを開発。2004 年の
設立以来、7,400 回を超えるワークショップを実施し、受講者は延べ約 27
万人に上る。
 - ・川崎市、相模原市、逗子市、鎌倉市の教育委員会、横浜市 5 区等からの行
政委託事業の他、2009 年度から 5 年間は神奈川県と協働で「デート DV 防
止のためのシステム構築事業」を実施。

認定 NPO 法人エンパワメントかながわ
〒 221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町 2-9-22-701
TEL:045-323-1818 FAX:045-323-1819
<http://npo-ek.org/>

懐かしい母校に
いまだからできる
贈り物。



認定NPO法人エンパワメントかながわ

CAPとは

Child Assault Prevention（子どもへの暴力防止）の頭文字を取ったもので、子どもがあらゆる暴力（いじめ・誘拐・性暴力など）から自分自身を守る力を持っていることに気づき、その力を発揮できるようサポートすることを目的としたプログラムです。

子どもたちに「安心（あんしん）」「自信（じしん）」「自由（じゆう）」の権利があることを伝え、あらゆる暴力から自分で自分の身を守るために何ができるかについて考えていきます。

ロールプレイを交えながら進めていくワークショップ形式です。子どもたちには学校のクラス単位で実施し、さらに、子どもたちを暴力から守るためにおとなとして何ができるかを考えるため、教職員、保護者、地域のおとなにも実施します。



CAP 小学生プログラム

● 90分（2時限）ワークショップ 60分+トークタイム 30分

1. 権利について
2. 子ども同士の暴力（いじめ）について
3. 知らない人からの暴力（誘拐）について 自己防衛の方法・特別なさげび声
4. 知っている人からの暴力（性暴力）について
5. 信頼できる人への相談（先生ロールプレイ）

★トークタイムとは、復習や質問、個別相談のための時間です。

CAP おとなワークショップ

● 120分（教職員や保護者・地域の方が対象です）

おとなとして、子どもたちを暴力から守るためにできることを考えていくのが目的です。子ども向けプログラムの模擬体験の他、暴力と人権について、また、子どもが怖い目にあったと話してきた時の話の聴き方を学び、練習します。



プロジェクト参加費

10万円

あなたが選んだ小学校で、1つの学年の子どもも向けワークショップ（クラスごとに実施）と、おとな向けのワークショップ（1回）を実施します。

※学校へは、当団体から伺ってご説明させていただきます。
※実施当日は学校でプログラムの様子を見学していただけます。
※中学校向け（100分×2日間）、就学前の幼児向け（30分×3日間）のプログラムも実施できます。詳しくはご相談ください。

寄付金控除について

認定NPOへの寄付については、個人であっても法人であっても、一般の寄付金とは別枠での税制優遇が受けられます。

母校にCAPを贈ろう！を応援します！

偶然の出会いからCAPを知り、プログラムを見学する機会を得ました。自分を大切にすること、困ったら大人に相談していいんだということなどを、寸劇を通して子どもたちにわかりやすく伝えるプログラムに感動しました。「ウチの学校でもCAPをやってくれていたら…」そんな後悔はしたくないと思い、母校の小学3年生にCAPをプレゼントすることにしました。

子どもたちがのびのびと成長できる社会になっていくように、このプロジェクトを応援しています。



株式会社協進印刷
代表取締役社長 江森克治さん